日本日本的情報		計業高等	専門学校	開講年度	平成29年度(授業科目				
日告報号			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	עו דושנויו ן	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1/~/	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
接来形態 授業		CIDTK	0126			科目区分	専門/選排				
###											
### 1988	開設学科		_								
照相当が材	開設期										
別達目標											
1. 地産の作作物のアルコリズムが興催できるともだった。 機能を持っている。 2. 小フ愛様・アンスを動か開催できるとともた。 他職を関係、機能で対象を必然のころ。 3. 画像は様のアルコリズが開催できる。 正文学は、富ァく前地は存储や時で10万分が特殊できる。 3. 一アリック 現場がら到速しへいしの目空 環境分析が成のアルコリズが開催できる。 ループリック 現場がら到速しへいしの目空 環境分析が成のアルコリズが関係できる。 4. メディア側の1数 また 単語 また	担当教員		芦澤 恵太	ζ							
1. 地産の作作物のアルコリズムが興催できるともだった。 機能を持っている。 2. 小フ愛様・アンスを動か開催できるとともた。 他職を関係、機能で対象を必然のころ。 3. 画像は様のアルコリズが開催できる。 正文学は、富ァく前地は存储や時で10万分が特殊できる。 3. 一アリック 現場がら到速しへいしの目空 環境分析が成のアルコリズが開催できる。 ループリック 現場がら到速しへいしの目空 環境分析が成のアルコリズが関係できる。 4. メディア側の1数 また 単語 また	到達目標										
#理的な影響というのであった。	1. 輝度 2. ハフ 3. 画像 4. メデ	分布作成の 変換・アファ 王縮のアルコ ィア情報の3	アルゴリズム ィン変換が理 ゴリズムが理 主要な表現形	が理解でき,雑音 解できるとともに 解でき,直交変換 式や処理技法につ	除去・2 値化・エッ , 画像処理に幾何学 に基づく簡単な圧縮 いて説明できる。	/ジ抽出を行うプロ! 学的変換を応用でき 辞伸張プログラムが(グラムが作成でき ^ん る。 作成できる。	3.			
「	ルーノリ	ノック		7m+0+6++7+1++		I#3445 1 707 1					
探信表・発育除去・2 億化・エッジ						標準的な到達レ^	ジルの目安	木到達レベルの目安			
神画	評価項目1			輝度分布作成の 解でき、雑音隊 ジ抽出を行うご	のアルコリスムが埋 余去・2 値化・エッ プログラムが作成で	雑音除去・2 値化・エッジ抽出を 行うプログラムが作成できる。		雑音除去・2 値化・エッジ抽出を 行うプログラムが作成できない。			
	評価項目2	2		きるとともに, 的変換を応用で	画像処理に幾何学 できる。	画像処理に幾何学的変換を応用できる。					
特別の到達目標項目との関係	評価項目3	3		き, 直交変換に 伸張プログラ <i>L</i>	こ基づく簡単な圧縮 なが作成できる。	直交変換に基づく簡単な圧縮伸張 プログラムが作成できる。					
学科の到達目標項目との関係 ((+) 教育方法等 【授業目的】 - 1.	評価項目4	1		メディア情報の 処理技法につい	の主要な表現形式や いて説明できる。	少なくとも一つの表現形式や処理 技法について説明できる。		メディア情報の主要な表現形式や処理技法について説明できない。			
(H) 教育方法等 【授業目的】	学科の発	到達目標功	頭目との関			,					
教育方法等 【授業目的】 1. 画像のディジタル処理の基礎事項を理解する。 2. 画像圧師のアルゴリズムを理解し、プログラミングを行う。 3. 目的とする手剛を行うためのアルゴリズムを理解し、プログラミングを行う。 3. 目的とする手剛を行うためのアルゴリズムを理解し、プログラミングを行う。 3. 目的とする手剛を行うためのアルゴリズムを理解し、プログラミングを行う。 3. 目のとする手剛を行うためのアルゴリズムを理解した。 1. To learn to create an image compression program based on various kinds of algorithms. 2. To learn to create an image compression program based on various kinds of algorithms. 3. To construct various kinds of algorithms of image processing for engineering applications. 4. To learn to create an image compressing for engineering applications. 4. To learn to create an image compressing for engineering applications. 4. To learn to create an image compressing for engineering applications. 4. To learn to create an image compressing for engineering applications. 4. To learn to create an image compressing for engineering applications. 4. The construct and the create an image compressing for engineering applications. 4. The construct and the construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications. 4. The construction of algorithms of image processing for engineering applications		-~	<u>, </u>								
「授業日的1		 ; 笑									
授業計画	授業の進 <i>&</i> 注意点	か方・方法 <u></u>	講義をに受ける 本画ま学 研内 は学画し マネ 変素 でいます でいます でいます でいます かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はい	いに授業を進める。毎回の授業において演習問題を、単元毎に課題問題を与える。特に課題問題はプログラム点をおく。 力中では,理解度の確認のために課題の発表を求めることがある。 受業での学習と授業外での自己学習で成り立つものである。 力理解には基本的な数学力が必要となる。各単元の事前の自己学習において既習内容は復習しておくこと。 象工学の理解を深め,応用力を養うために毎回の演習問題および単元毎に課す課題問題を,4時間程度の自己 て義務付け,その回答を指定日時までに提出してもらう。							
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 16週 15週 16週 16週 1月四十二三人の学習内容と到達目標 分野 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週評価割合	+⊠₩≡+ï	 Fi	je-maii:	asnizawa) y r x	(ークmaizuru-ct.ac	jp (アットマーク	/は他に変えること				
1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 16週 15週 16週 16週 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1	1又未可四	<u> </u>	1国	哲学 内容			国プレの到法日堙				
1stQ 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 7週 8週 7週 7				1X*r1T			<u> </u>				
1stQ 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 16週 15週 16週 16週 1月四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二											
1stQ 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15月 16週 15月 16月 16											
1stQ	前期	4 10									
7週 8週 9週 10週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 17万カリキュラムの学習内容と到達目標 7週 対野 学習内容 学習内容の到達目標 9週達レベル 授業週評価割合		ıstQ									
8週			6週								
10週			7週								
2ndQ 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 対策 分類 分野 学習内容の到達目標 評価割合 到達レベル 授業週			8週								
2ndQ 11週 12週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分類 分野 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週 評価割合		2ndQ	9週								
2ndQ 12週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 サ習内容の到達目標 分類 分野 学習内容の到達目標 評価割合 到達レベル 授業週				+							
2ndQ 13週 14週 15週 16週 16週 モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 対策 分類 分野 学習内容の到達目標 評価割合 到達レベル 授業週											
13週											
15週 16週 16週 日											
16週											
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週 評価割合											
分類 分野 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週 評価割合	モデル	」 フアカリゴ		 学習内容と到i							
評価割合	<u> </u>	-, ,, ,-				 標		到達レベル 授業调			
			1/222	12 111 211	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			1-12-47			
	<u> </u>		 験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他合計			

総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0